#80225 LRP クァンタムコンペティション2 取扱説明書

※ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

株式会社 エイチ.ピー.アイ.ジャパン www.hpiracing.com
〒433-8119 静岡県浜松市高丘北3-22-20
製品に関するお問い合わせは・・
カスタマーサービス課　TEL.053-430-0770
受付時間:月曜～金曜（祝祭日除く）9:00~12:00/13:00~17:00

ご使用される前に

この度はLRPクァンタムコンペティション2をお買い上げいただきありがとうございます。本製品の性能を100%引き出した上でご利用いただき、また安全に取り扱っていただくためにも必ず下記の事項をお守りください。これらの説明は貴方の生命や身体に重大な被害が発生する可能性や、物損事故などにつながる危険を示すものですので必ずお読みください。また、誤った接続や取扱で故障や事故が発生した場合は保証いたしかねますのでご注意ください。

LRPクァンタムコンペティション2の優れた特徴

- ○防水化により抜群の耐久性
- ○画期的なリアクティブソフトウェア
- ○抵抗を最大限に抑える事によりロスを最低限に抑えつつ最大パワーを引き出します
- ○LRP独自の改良版デジタルエンジンマッピングシステム2（DEMS-2）を搭載
- ○3つのモード（パンチコントロール、イニシャルブレーキ、オートブレーキ）が調節可能な100%デジタル機能
- ○外部ハンダ付位置に13 AWGシリコンワイヤー付
- ○Pre-set factry set-up
- ○オートスタート機能
- ○ブルーの強力ノイズ遮断ケース
- ○受信機バッテリーを使わずに4セルでの操作が可能

テクニカルデータ

入力電圧/セル数	4-7セル（4.8-8.4V）	オートスタート	あり
標準電圧降下（20Aで）	0.013V	3つの調節モード（パンチコントロール、	
定格電流※1	150A	イニシャルブレーキ、オートブレーキ）	あり
定格モーターリミット	5T以上	DEMS-2	
BEC	5.8V	（デジタルエンジンマッピングシステム2）	あり
PWM周波	リアクティブ	ケース寸法(mm)	28.7×25.7×14.4
防水/耐ショック性	あり	重量（ワイヤーを除く）	21.5g
マルチ保護システム	あり		

※1 摂氏25°接合温度でのトランジスタ値。仕様は事前の連絡なしで変更になる場合があります。

⚠危険・警告・注意

人身・故障・物損事故の原因となります。

*__重要__:本機から離れる際は必ず電源をおとしてください。最悪の場合ラジコンカーに引火し周囲の物を破損する可能性があります。

*ショートの危険性がありますので、ハンダのつまみが絶対に誘導金属に接触しないようにしてください。

*モーターがスピードコントローラーに接続されている時は、別のバッテリーに接続してモーターを回さないでください。それによってスピードコントローラーの破損が発生した場合は保証いたしかねます。

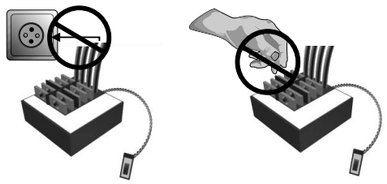
*操作中に電源を切らないでください。それによってスピードコントローラーの破損が発生した場合は保証致しかねます。

*各コードの接続個所、極性を間違えますとスピードコントローラーの破損につながりますので間違えないでください。

*スピードコントローラーは常に空気に触れていなければいけませんので、スピードコントローラーをアルミホイルやフィルムに包まないでください。

*受信機のプラグの電極は絶対に変えないでください。

*ショートを避ける為、コードや接続部は全て完全に絶縁してください。



セットアップの手順

セットアップモードでセットアップボタンを押しますと、選択された数値を自動的に記憶しますので、その後電源を切ってもセッティングのメモリーは消えません。ではプロポからセットアップしていきましょう。

プロポのセッティング

プロポの基礎機能は以下の様にセットしてください。（以下の機能がある場合）

前進側ATV, EPA	（スロットルトラベル）	- 最大
ブレーキ側ATV, EPA, ATL	（ブレーキトラベル）	- 最大
EXP, EXPO	（エキスポ）	- ゼロスタート
SUBトリム	（ニュートラルトリム）	- センター
THトリム、コーストブレーキ		- センター
スロットルリバース	（サーボリバース）	- どのセッティングにおいても可能。 セットアップ完了後の変更は禁止

非対称のスティックトラベルも可能（2/3スロットル—1/3ブレーキ）
お持ちのプロポに以上のセットアップ機能が付いていない場合は、既にセットアップモードになっています。

↓

*スピードコントローラーがドライブバッテリーに接続されていない事、また電源が入っていない事を確認。
*モーターピニオンを外すなどして、タイヤやホイールに動力が伝わらないようにする。
*プロポの電源を入れる。
*プロポのスロットルスティックをニュートラルにセットする。

↓

*スピードコントローラーをバッテリーに接続し、電源を入れる。
*付属のプラスチックドライバーでセットボタンを3秒以上押し続ける。

↓

*右側のSET LEDが赤に点滅しセットアップモードが選択された事を知らせます。
これはセットアップ手順が完了するまで点滅します。

↓

*スロットルスティックをニュートラルに入れたままSETボタンを一回押す。
*ニュートラルセッティングが記憶され、左側のMODE LEDが緑に、SET LEDは赤く点滅し、モーターからブザー音が鳴ります。
*スロットルスティックをフルスロットルに入れたままSETボタンを一回押す。
*フルスロットルセッティングが記憶され、左側のMODE LEDとSET LEDが赤く点滅します。
*スロットルスティックをフルブレーキに入れたままSETボタンを一回押す。
*ブレーキセッティングが記憶され、左側のMODE LEDと右側のSET LEDが赤く点灯します。
*これでセットアップの完了です。クァンタムコンペティション2が使用できるようになりました。

*セットアップの途中でミスをした場合は、スイッチを10秒程切り最初からやり直してください。
*各走行後は、スピードコントローラーをドライブバッテリーから離してから、プロポの電源を切ってください。各走行前は、まずプロポの電源を入れてからドライブバッテリーに接続してください。

機能点検: スロットルスティックを以下の機能に合わせますと、正しくセットアップされているかLEDがお知らせします。

機能	状態	左側 MODE LED	右側 SET LED
ニュートラル及びノーマルブレーキ		オフ	赤
ニュートラル及びオートブレーキ		赤	オフ
フォワード	中間	緑	オフ
フォワード	フルスロットル	緑	赤
ブレーキ	中間	赤	オフ
ブレーキ	フルブレーキ	赤	赤

機能

■デジタルモード

クァンタムコンペティション2には3つのモードがあり、モーターパワーやドライブフィーリングをお好みに合わせてセットアップする事が可能です。

1. パンチコントロール
パンチコントロールはLRP独自のデジタルエンジンマッピングシステム2(DEMS-2)によって行われ、お好みの加速度に合わせる事が可能です。このシステムは電流制御や多様な周波といった単純なテクノロジーに替わるものです。画期的な世界でLRPだけのDEMS-2は必要に応じ自動的に反応し調節する機能です! DEMS-2はドライバーの走行スタイルやモーター状況を探知し最大性能を引き出します。

2. イニシャルブレーキ
イニシャルブレーキはブレーキの効き始めの強さを設定するものです。数値を高くするほど、初期のブレーキが強くなります。

3. オートブレーキ
オートブレーキはニュートラル時の微妙なブレーキアクションを設定するものです。数値を高くするほどニュートラル時のブレーキが強くなります。

■モードの入力

* MODEボタンを3秒以上押し続けます。MODE LEDが緑に点滅し、パンチコントロールモードが選択された事をお知らせします。
* セット値(1-5)は赤のSET LEDの点滅回数で分かります（例えば1回点滅すれば数値は1となり、2回点滅すれば数値は2といった具合です）。
* 数値はSETボタンを押して調節します。
* 次のモードに移るにはMODEボタンを再度押してください。MODE LEDが赤く点滅し、イニシャルブレーキモードが選択された事をお知らせします。
* 右側のSET LEDが記憶された数値をお知らせします。数値はSETボタンを押して変更してください。
* MODEボタンを再度押して次のモードに移ります。MODE LEDが赤と緑に点滅しオートブレーキモードが選択された事をお知らせします。
* 右側のSET LEDが記憶された数値をお知らせします。数値はSETボタンを押して変更してください。
* MODEボタンを再度押しますと、入力完了です。モードは通常の操作状態に戻ります。

モード	MODE LED	数値	結果
パンチコントロール	緑	1-5	1 = スムース、5 = 強力
イニシャルブレーキ	赤	0-5	0 = リニア、5 = プログレッシブ
オートブレーキ	赤/緑	0-5	0 = オフ、5 = 強力

*DEMS-2でのパンチコントロールでは以下の5つのモードに設定が可能です

モード 1	低グリップ用プログラム
モード 2	オフロードプログラム
モード 3	ツーリングカープログラム
モード 4	スーパーリアクティブプログラム
モード 5	ストックレーシングプログラム

■工場出荷仕様

LRPのスピードコントローラーは工場でセットされて出荷されます。
リセットセッティング:　パンチコントロール = 2、イニシャルブレーキ = 2、オートブレーキ = 0
セットアップの途中でモードが分からなくなりましたら、上記のセッティングでリセットする事が可能です。プロポのコントロールシステムをオンにしてSETボタンを押したまま、スピードコントローラーの電源を入れれば、LRP工場でのセッティングに戻ります。

■プロポを使わずにセッティングが変更可能

クァンタムコンペティションは、プロポからのシグナルなしでスピードコントローラーの調節が可能です。受信機から（スピードコントローラーにつながっている）受信機コードを外し、バッテリーに接続するだけで、以上のモードセッティングが出来る様になります。 注意:モーターや、ピニオンギヤを外して設定を行ってください。

■オートスタート

レースのスタートがレース結果を左右する場合があります。オートスタートシステムがあればスタート時のスピードコントローラーの反応時間が短縮され、より加速が強力に出来る様になり、スタート時の条件が有利になります。スタート前にプロポを5秒間フルブレーキに入れますとオートスタートが作動します。

配線の手順

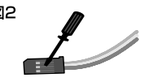
*コンデンサーとショッキーダイオードをモーターにハンダ付けする。

*モーターピニオンを取り外すなどして、車体の車輪がスムーズに回転する事を確認してください。

*スピードコントローラーを受信機（2ch）に接続する。LRPスピードコントローラーは、マルチコネクター仕様ですので、各社受信機（旧サンワ受信機は除く）に直接接続できます。

＜注意＞旧サンワ受信機に使用する場合は、付属のAIR用コネクタに交換してください。

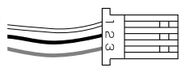
図2



1. 先端の尖った物で金属の爪を押し込み、コードを引き抜く。（図2参照）
2. 金属の爪を上に曲げ、プラグを新しいプラスチックの型に押し込む。

※ 接続を変更する際は電極を間違えないように気を付けてください。（図3参照）

図3

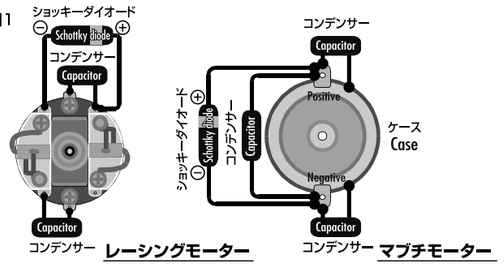


コードを差し込む位置に注意。

＜注意＞ 接続を間違えると、受信機・スピードコントローラーが破損する可能性があります。

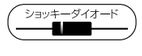
モーターの配線

図1



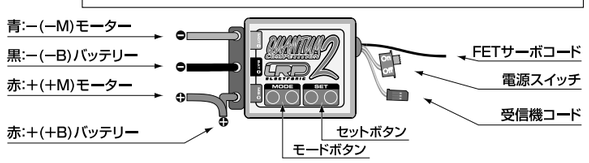
ショッキーダイオードは、図のようにハンダ付けしてください。必ず白い輪がモーターの(+)へ向くようにしてください。

注意:ショッキーダイオードはフォワード/ブレーキ機能付スピードコントローラーにのみご使用ください。リバース付は使用できません。



*受信機コード
LRPスピードコントローラーにLRP-Multicon受信機コードが付いている場合はそのまま全ての受信機に装着可能です。

＊電源コード（バッテリー、モーターコード）の交換について
電源コードの交換を希望されるお客様は、弊社のコード交換サービスをご利用いただく事をお薦めします。もし、お客様自身でコード交換される場合は、必ず#80285 LRP13 LRP Q.C. フレックスワイヤーセットをお使いください。但し、お客様によるコード交換以後の、故障、破損等は弊社では一切保証いたしかねますのでご了承ください。



RCカーへの取付け時の注意

*付属の両面スポンジテープでスピードコントローラーをRCカーに固定してください。

*車体内の空気の流れが確保できるようにボディをカットしてください。スピードコントローラーの性能をアップさせ、寿命が長くなります。

*衝突しても衝撃を受けにくい安全な場所に取付けてください。

*コネクターやセットアップボタンが操作しやすい場所に取付けるようにしてください

*スピードコントローラーやコード、受信機、受信機用アンテナはそれぞれ適度に離して（3cm位）搭載してください。電気パーツが受信機やアンテナに接触しますとノーコンの原因となります。ノーコンが発生した場合は部品の配置を変えてください。

*アンテナは垂直に立て受信機に向けないように、またカーボンファイバーや金属のパーツに接触しないようにしてください。アンテナが長すぎた場合、コイル状態にはしないで35cm位にまで切り落としてください。この点に関してはRCカー及びプロポの取扱説明書もお読みください。

防水

*最新保護技術とハイテク資材の使用でクァンタムコンペティション2は防水化により抜群の耐久性を実現しました。

*雨や雪の走行でももうスピードコントローラーを防水保護する必要はありません。通常防水性のない受信機やサーボ等の電子部品は防水保護を施してください。

*走行終了後にはスピードコントローラーについた水は必ず拭き取ってください。水中での使用など、極端な使用や誤った使用による故障は保証致しかねますのでご了承ください。

トラブルシューティング

兆候	原因	対策
サーボは動くがスロットルが機能しない。	セットアップや基本セッティングのミス。	基本セットアップを始めからやり直す。機能を正しく記憶させるには、セットアップボタンを押す際に必ずスティックをフルスロットルに入れてください。また、プロポ機能も全てこの取扱説明書に従ってセットしてください。
	スピードコントローラーが受信機の間違ったチャンネルに接続されていたため。	スピードコントローラーはかならずCh.2に接続してください。受信機コードの電極も確認してください。
	モーターの欠陥のため。	別のモーターを使用してください。
	モーターのブラシが動いていないため。	カーボンブラシが自由に動くようにしてください。
	配線トラブルのため。	コードと配線を点検してください。
	スピードコントローラーの欠陥のため。	お送り頂ければ修理致します。
ステアリングサーボやモーターが動かない。	受信機プラグの配線ミスのため。	受信機プラグの配線を点検してください。
	クリスタルや受信機、プロポの欠陥のため。	欠陥があるものは新しいものと交換してください。
	スピードコントローラーが潰れて保護回路が作動しないため。	直ちに電源を切り、スピードコントローラーから分を除去してください。
	受信機の電源回路に欠陥があるため。	BEC出力電圧を調べてください。お送り頂ければ修理致します。
スロットルを開けてもモーターが回らない。また、ブレーキを掛けるとモーターが回る。	プロポのスロットルの電極（方向）が変わったため。	スピードコントローラーのセットアップを繰り返し、プロポの設定を変えないでください。
ブレーキが効かない。	セットアップ及び基本設定に問題があるため。	スピードコントローラーの基本セットアップを最初からやり直してください。「モーターが動かない」欄参照。
	スピードコントローラーの欠陥のため。	お送り頂ければ修理致します。
ブレーキが十分に効かない。	セットアップ及び基本設定に問題があるため。	基本セットアップを最初からやり直してください。またプロポのLow ATVやEPA、ATLを最大にセットし直してください。
	モーターピニオンと減少の比率が大き過ぎるため。	小さめのモーターピニオンをお選びください。
トップスピードが十分に出ない。	セットアップ及び基本設定に問題がある、またはプロポがスピードコントローラーのセットアップ後に変更されたため、または、セッティングが変更になったため。	スピードコントローラーの基本セットアップを最初からやり直してください。「モーターが動かない」欄参照。
加速が悪い。	モーターの欠陥でブラシが動かないため。	ブラシが自由に動く別のモーターに替えてください。
スピードコントローラーがオーバーヒートする。	クーリングが不十分なため。	ボディをカットして通気を良くしてください。
	モーターパワーが強過ぎたり入力電圧が高過ぎたため。	弱めのモーターに換えるか、電圧が低めのバッテリーに換えるか、またはセル数を減らしてください。
	モーターピニオンとの減少の比率が大き過ぎるため。	小さめのモーターピニオンに換えてください。
	走行や駆動系に問題があるため。	パーツをチェックして新しいものに換えてください。
	十分にクーリングせずに走行したため。	走行の間にスピードコントローラーを十分に冷却してください。
モーターが止まるがゆっくりと回り続ける。	スピードコントローラーに水が入り込んだため。	直ちに電源を切り、ドライヤー等でスピードコントローラーを乾燥させてください。
	セットアップ及び基本設定に問題があるため。	スピードコントローラーの基本セットアップを最初からやり直してください。
	スピードコントローラーの欠陥のため。	お送り頂ければ修理致します。
プロポのノーコン	モーターが不適切に抑制されているため。	キャパシターをモーターにハンダ付けください。
	受信機やアンテナが動力コードやモーター、バッテリー、スピードコントローラーに近過ぎるため。また、受信機のアンテナが短過ぎるかコイル状になっているため。	「配線の手順」欄をご覧ください。
	受信機やプロポ、プロポモジュール、サーボ、クリスタルの何らかの欠陥、またはクリスタルの種類が適切でないため。	パーツを点検して欠陥のあるものは取り換えてください。クリスタルは必ずオリジナルのものをご使用ください。
	動力コードが長過ぎる、または赤の動力コードが誤って接続されているため。	「配線の手順」欄をお読みください。
	KO-FETサーボにチョークが付いていないため。	サーボに付いてくるチョークを定位置にハンダ付けしてください。
	コネクターの接続問題のため。	コネクターを確認してください。
	バッテリーの接続不良のため。	接続をお調べください。
	プロポのバッテリーが空になったため。	電池を交換、充電してください。
	プロポのアンテナが短過ぎるため。	プロポのアンテナをいっぱいに延ばしてください。
	プロポのバッテリーがほとんど空のため。	プロポのバッテリーは定期的に点検してください。
コントロールが悪くまっすぐに進まない。	プロポのセッティングが異なるため。	スピードコントローラーの基本セットアップを最初からやり直してください。

保証／修理・交換サービスについて

製品の保証について:

本製品は、工場出荷時に作動確認をしております。製品の調子が悪い場合は、説明書をもう一度読み直してお調べください。商品の開封後、不具合と思われた場合は、使用は止め、HPIジャパンまでお問い合せください。当社で初期不良と確認出来た商品に限り、新品交換をさせていただきます。使用後や初期不良と判断出来ない商品、お客様の誤った使用、又は本機を分解したり、コードを交換したりしている場合は、保証の対象外となりますのでご了承ください。

修理・交換サービス:

初期不良以外の修理等につきましては、こちらのサービスをご利用ください。修理を依頼される際は、別紙の「LRP製品修理依頼書」にご記入の上、修理品と一緒にお送りください。

※修理・交換サービスの詳細は、別紙「LRP製品修理依頼書」をご覧ください。

コード交換（モーター、バッテリーコード）	料金:¥1,400（税別）
ケース交換	料金:¥1,400（税別）
本体交換　LRPクァンタムコンペティション2	料金:¥14,900（税別）

料金のお支払いは代金引換えのみ別途代引き手数料500円がかかります。
※購入されたお店で修理を依頼される場合は、別途手数料がかかる場合がありますので、お店にご確認ください。

IJ-80225-3